

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和8年1月

（1）鹿児島県4HCマルシェに沖永良部地区が参加

1月17日から18日の二日間、鹿児島市のおいどん市場与次郎店で鹿児島県4HCマルシェが開催され、県内から9つの地区が参加しました。沖永良部地区は奄美群島の地区クラブから唯一の出店で、個装の黒砂糖販売の他、黒砂糖の詰め放題を出品しました。営業開始とともに多くの客が商品を購入し、二日目の営業終了時間を待たずに商品が完売するなど、売れ行きは大変好調で、特に黒砂糖の詰め放題は好評でした。購入者は、「黒砂糖特有の風味が強くおいしい」と話していました。



（2）マンゴー栽培研修会の開催による情報交換

12月22日、知名町で「マンゴー栽培研修会」が開催されました。室内研修では、生産者による徳之島での研修内容（着果安定対策やピタヤ・タンカン生産状況）報告や、DENBA（果実中の水分子を共振させる鮮度保持装置）を活用した保管実証結果が報告されました。農業開発総合センターの講師からは、令和7年度春先の低温による着果不良のハウス内の保温対策などのポイントが説明されました。研修後は、町内2園地で、良好な仕立てや生育状況を確認し、情報交換が行われたことで、令和8年度産マンゴーの生産に向けた意欲が高まりました。



（3）優良農場に学ぶ飼養管理研修 沖永良部畜産部会

1月26日、和泊町の農場で、繁殖牛農家20人をはじめ、家畜保健衛生所、JA、町および農業普及課の参加のもと、沖永良部畜産部会主催による飼養管理研修が開催されました。研修先の農場は、母牛頭数65頭、平均分娩間隔355.9日と、繁殖成績が非常に優秀な経営体であり、分娩間隔の短縮や子牛飼養管理の改善に向けた具体的なポイントについて農場主による説明が行われました。濃厚飼料をはじめとする生産コストが上昇傾向にある中、生産者と関係機関が一体となり、今後も効率的な肉用牛経営に取り組んでいきます。



（4）えだまめ出荷反省会、栽培講習会を開催

1月20日、知名町役場で、えだまめの秋作出荷反省会及び春作栽培講習会を開催しました。出荷反省会では、JA知名から出荷実績の報告があり、今作は生産者7名、作付面積1.6ha、出荷量4,764kgでした。農業普及課は、かん水や病害虫防除等の栽培管理に関するアンケートを実施し、栽培上の課題把握を行いました。栽培講習会には新規栽培者も参加しました。農業普及課から基本的な栽培技術及び出荷方法について説明を行いました。今後も関係機関と連携し、安定したえだまめ生産に向けた支援を行っていきます。

